

## 設立趣旨宣言書

近年、日本の理学療法に対する社会からの要請は、医療の分野に止まらず益々高まってきており、それに伴い理学療法士の数も急増してきている。このような時代だからこそ、今、私たちは、資格だけではなく、真の意味で質（志）の高い理学療法士を目指さなければならない。加藤セミナー（暫定名）は加藤研究室 OB が主体となり、志を共にする者が理学療法をキーワードに年に一度、結集し、将来の夢を持ち寄り語り合う。そして、本会で結集した夢の力が、新たなる連携と新たなる臨床研究を生み、明日の臨床のさらなる原動力の一つとなることを願い、ここに設立することを宣言する。

平成 21 年 12 月吉日

加藤研究室 OB 一同

### 加藤セミナーの志（十一の心）

- 一. 理学療法の「理念」を明確にしよう！（何のために？ 誰のために？）
- 二. プロフェッショナル（Professional）としての「誇り」を高く持とう！
- 三. 理学療法士としての「責任」を持とう！
- 四. 理学療法の「夢」を持ち続けよう！（10 年先の Vision を持とう！）
- 五. 失敗を恐れるな！（怖いのは失敗を恐れて何もしないことだ！）
- 六. 臨床的感性（直感）を大切にしよう！（“select” から “choice” へ）
- 七. 磨かれた臨床的感性を科学的に表現できる力を持とう！
- 八. 研究は手段であり目的ではない！（目標なき研究は、発展・継続しない）
- 九. やる前から無理だとあきらめるな！まずは、何事もやってみる精神を持とう！
- 十. 100%完璧な理学療法を行うことは無理だろう。しかし、100%を目指した理学療法を行うことは、絶対出来るはずだ！
- 十一. 業務（流れ作業）ではなく仕事（クリエイティブ）を楽しもう！

## 第2回 セミナー開催趣旨

現在、本邦の理学療法士数は5万人を越え、さらに年間1万人の理学療法士が誕生しています。それにともない、求人募集は激減し、就職浪人も生まれている状況になっております。総人口の増加が期待できない日本において、経済のこれ以上の発展はありません。言い換えれば、これ以上の医療費の増加は期待できません。限られた医療費を医師、看護師を含めた多くの医療職種、介護職種と分け合っていかなければならず、今後の理学療法士は、あらゆる面において非常に厳しい時代を迎えることは間違いないようです。さて、今後の理学療法士の勤務する病院形態について考えてみますと、①大型ドラッグストア方式（若い賃金の安いPTを多く雇い、ある一定以上の年齢になるとやめていく。PTの質は問わない病院）②小売方式（これまでと同じように、数名のPTしか雇わず、リハビリテーション科を標榜することに意味があると考えている病院。PTの質は問わない）③コンビニ方式（利用者の利便性を考えた病院。小売方式と大型ストアの中間的なPT数になる。勤務時間も不規則（夜間や祭日出勤）になり、PTの質が問われてくる）の3つに大別されていくと考えられます。必然的にPTの質が要求されていく病院を目指していくことになるのですが、いくらPTの評判がよくなったとしても、診療報酬に単位数のしほりがある現状では、その恩恵を病院が得ることは難しくなります。つまり、個人の技能の向上だけでは現状を打破していくことはできないのです。理学療法士の全体的な技能向上が必須なのです。理学療法全体のレベルアップとは、いったいどのようなものなのでしょうか。特殊な治療理論を学ぶことでしょうか。学歴をあげることでしょうか。我々は『患者を治す理学療法』を構築することだと思っています。そのために最も必要なことは、現状に満足せず、『明日の理学療法を想像する』ことだと思っています。『明日の理学療法』は、PTひとり一人で異なると思います。その中で、患者側からすれば、同質の保障を期待しています。つまり、『行う理学療法は異なっても、病態の解釈や結果は同じであって欲しい』ということです。そして、その『結果』が、患者を治すことになってはじめて、『患者を治す理学療法』が構築されたことになるのです。『患者を治す理学療法』の構築にむけた、はじめの一步として、我々は筋電図計の臨床利用があると考えています。視診や触診の重要性は重々知っているつもりですが、実際の筋活動を自分の目で確認することで、新たな理学療法が生まれてくると考えています。臨床場面でも徐々に筋電図が活用されてきていますが、研究レベルを脱していないのが現状です。筋電図の臨床利用は、理学療法にパラダイムシフトを起こす可能性を秘めていると考えています。そこで、このたび筋電図の臨床利用を中心として、多くのセラピストと議論する場を作りたいと思い、第2回セミナーを企画いたしました。本趣旨にご賛同頂ける先生方のご参加を心からお待ちしております。

1. テーマ 『理学療法は臨床現場の学問である！— 明日の理学療法を科学する —』
2. 日時 2010年2月27日（土）午後4時～ 28日（日）午前10時
3. 場所 大分県内の温泉宿（リーズナブルな宿）を予定
4. 参加費 2000円（宿泊費・食費は個人負担でお願いします。）
5. 参加条件 本セミナーは相互参画型の研修会です。そのため参加者全員でのディスカッションを予定しています。臨床での疑問、あるいは研究してみたいテーマや企画を持っている方、あるいは、研究仲間を作りたい方の参加を歓迎いたします。
6. 募集 20名
7. 申込 氏名、年齢、臨床経験、勤務先、連絡先（メール、携帯）を明記し、下記、メールアドレスから申込をして下さい。後日、事務局より返信申し上げます。

hkatoSBJPT@gmail.com